



井筒河内通
兼東
巻

4336



渡邊藏書



舟岡業平行通

仙若松園集

びしと^中若^シび^シの^中今^中日^中あ^中て^中矣^中
 昔^中より^中び^中し^中の^中あ^中と^中復^中の^中般^中の^中び^中
 般^中の^中園^中の^中び^中し^中も^中昔^中の^中禮^中に^中よ^中り^中て^中快^中
 意^中も^中あ^中ら^中ま^中る^中百^中方^中の^中米^中は^中て^中天^中地^中
 ち^中の^中地^中も^中あ^中ら^中ぬ^中び^中し^中一^中毫^中も^中存^中在^中ら^中ず^中
 平^中矣^中道^中程^中の^中定^中也^中伊^中呂^中惟^中也^中親^中遠^中

永田文庫

も及ぬる事なきはこれ柳の又夜にの徳松殿
は海津内を及ぬる松殿の老翁今法和
天皇は女はまきつるい内宮生は三葉の石と也
るこのは多半が案内也を結ぬる境此
節正下の帝女のおくも幸の程の英今女お
の蹟今分る事なきわど此のありたは女お
首のまき束は多半に海津にありて秋又束ぬ

井に

又柳に寄ては月海は自由の海を去る女お娘
海津の松殿はひとと母老翁女もはて今女お
と我神の天子娘身也て人の書きても書美
下は海津の物語なきはまきつるい内宮生は
天皇とありて内宮生は女お事事今もはる後
の縁ありたは所なき事なき事なき事なき
他縁ありたは所なき事なき事なき事なき

待りて言ふ事なりける事ありて中
か平中守のい言事ありと後家世母孫の婚あり
他美物なりは中
之無事毎年の行の事ありて中
百の言なり神の婚ありて中
とて事ありて中
先の事ありて中

井二十

事ありて中
先の事ありて中
事ありて中
事ありて中
事ありて中
事ありて中
事ありて中
事ありて中
事ありて中
事ありて中

